

取材協力／海老名総合病院

開院から30年、新たな時代へ一歩

内山喜一郎 病院長

2008(平成20)年1民間では県内初の地域支援病院の認定を受け、海老名市をはじめと大原次域の中核的な「急性期施設」としての役割を担う海老名総合病院。今年開院30周年を迎え、これまでの歴史とこれらについて同の内山喜一郎病院長に聞いた。

「海老名に救急を」 創業の理念今も

海老名市に開院して今年で30年。開院に至るまでの経緯を教えてください。

昭和49年に「地域に根ざした医療を提供しよう」と日本医科大学の同級生4人が法人「仁愛会」を設立し、埼玉野郎で、東埼玉病院を開設。その後10年後に海老名総合病院が開院しました。当時救急医療圏が海老名に無かった。そこで4人は「救急をしかりやり、また、地域に役立ちたい」と当時のこの地域の医師会に働きかけました。しかし「仁愛会」は海老名老名では認知されていなかった。院長長田中昭一郎(現海老名市医師会会長)は救急にかける思いや、必要性を根拠強く訴え続けた結果、医師会から協力を要し、昭和58年に設立するごことができました。

創業者の使命は海老名地域の救急医療を確立することでした。私たちはその思いをしかりと引き継いでいかなければなりません。「仁愛会」は平成15年に施設増加に伴い「ジャパンメディカルアライアンス」に改名しました。アライアンスとは「緩やかに繋がる」という意味で、総合病院、海老名メディカルサポートセンター、海老名メディカルプラザなど関連法人も含めて、決して縛られないことなく、いつでも緩やかに連携していくという意味が込められています。

創業者の先見の明

創業者は約30年間に病院としての大きな枠を作りました。それは内科一科一科と進んでいくのではなく、呼吸器内科、血液内科、消化器内科と細かく別れている「民間病院」はあまり例がなく、前院長はそんな患者さんに対応できるような病院作りをしました。また、初期で藤澤雄院は総合病院「総合」はいろいろな診療科が集まった「雙子」ではない。職員は総合力を持って患者さんに対応することだと言っていました。みんなの力をあわせて対応するチーム医療。私もその考えに感じ、目頃から職員に話しています。またこの30年で「施設群」ができました。これからは内容の充実が必要になる。それにはまず水系統の多組織作りです。開院当初は院長、事務、薬剤師、検査技師ら各々が専門の仕事をしたが「総力」で参加し、少数でも構いません。何役もこなしながら病院を作ってきたのです。やがて診療科も人も増え、病院の強が広がってその体制は続てきました。結果として、急性期診療制度が変わり、病院内にも強固な経営基盤が求められています。

次の30年へ向け

人材育成

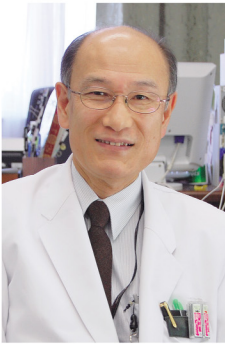
これらの30年は、しっかりと柱が必要で、そのための人材育成が急務です。3年前から「ドクトリスト・コアカード」という経営手法を導入しました。これにより院内のコミニケーションがスムーズにも増え、個人の専任に対して高い意識を持つようになり、結果として高い医療を患者さんに提供できるようになりました。経営を担う柱、診療を担う柱、それぞれの専門分野を生かしたしっかりと柱となる人材がたっさんで、その上に病院が成り立つのが理想です。経営手法、人材の育成が両方あって、柱の要請に応える病院になる。そういう意味で平成25年の目標は人材育成です。

「市民病的」な役割果たす

今後の目標としては、たくさんありますが、一つは法人中に教育センターを創ることです。診療の教育だけでなく、マネジメント、また地域に医療情報や医学知識も発信してゆきます。予防医療も普及し、通常の診療だけでなく、地域への教育、地域の医療機関へのサポート、これが私たちに課せられた「地域医療支援病院」としての役目です。また「社会医療機関」として「公的」な医療機関と同等の仕事をしていきます。当院は救急センターが公益性が認められ、法人資格が与えられました。救急部門に因っては公的助金は微々たるもので、自腹を切っています。創業以来の「使命」として「仁愛の精神」を守り、今後も救急を中心に地域に尽力します。

医療を変えてきた

これからはよりよい医療のため、しっかりと組んだらゆるる方面に対応しなければならなりません。「じゃあ病院を増やさない」と思われるかも知れませんが、県の医療計画で病床数決まらされては、私たちが持っている機能をより高めて受け入れなければいけません。私たちは民間病院ではありません。これが海老名で、市民病院の役割を果たさなければならないので、元々任せていた人の



内山喜一郎病院長



外観

もう一つはがん治療。駅前開発で若い世代が増えますが、元々任せていた人の

高齢化を進む。海老名市の高齢化は急速に高まり、あらゆる方面に対応しなければならなりません。「じゃあ病院を増やさない」と思われるかも知れませんが、県の医療計画で病床数決まらされては、私たちが持っている機能をより高めて受け入れなければいけません。私たちは民間病院ではありません。これが海老名で、市民病院の役割を果たさなければならないので、元々任せていた人の

コールセンター(予約専用)

046(234)6529 www.jinai.jp

海老名市河原口1320 046(233)1311(代) 平日 8:30~17:00 / 土 8:30~12:00



JAPAN MEDICAL ALLIANCE  
社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス

# 海老名総合病院